

エコ菜ハウス

指定管理者



特定非営利活動法人湯田組

天栄村大字湯本字居平 4 4

TEL 0248-94-4130 FAX 0248-94-4131

Growing with Geothermal Energy and Forest Water



地熱で暖房、沢の水で冷房

このハウスでは、地下 1,400mまで掘った井戸を利用した「同軸熱交換方式」によって沢からの水を温め、館内の暖房や水耕栽培の温度管理をしています。また、夏には沢水の冷たさを冷房に利用しています。石油ヒーターやエアコンを使わずに冷暖房が可能のため、一般的な農業ハウスに比べて光熱水費が大幅に削減できているうえ、CO2 排出の削減にも寄与しています。

地熱調査井戸の再利用

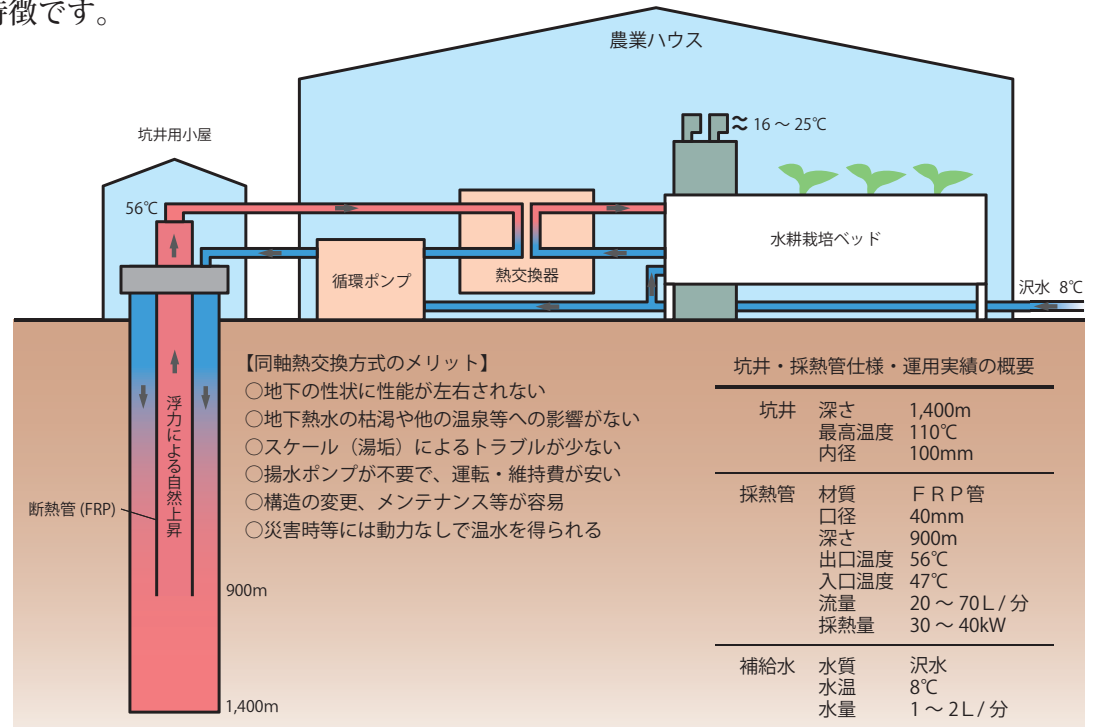
地熱の井戸はもともと調査用に掘削されたもので、本来であれば埋め戻されてしまうところを、「EIMY※型地熱開発」によって農業ハウスへの応用を可能にしました。日本各地でこうした調査用井戸の多くが放棄されたり埋め戻されたりしている中、湯本のハウスの事例は「地域のための地熱利用」の実践例として、大きな意味を持っています。

湯本で初めての通年栽培可能なハウス

年平均気温 9℃、冬には -20℃を下回ることもある天栄村湯本では、暖房コストの問題から、冬に施設園芸をすることは不可能でした。しかしこのハウスでは地熱を利用することで大幅な暖房コストの削減ができ、新鮮な野菜の通年栽培が可能になりました。また、ハウス栽培ではしばしば夏の温度上昇も問題になりますが、これも沢水による冷房で温度管理でき、安定した生産が可能です。

沢水を使った無農薬水耕栽培

水耕栽培には沢水をそのまま取り入れて使っており、このハウスで栽培する野菜からは湯本のおいしい水の味がします。またハウスに入念に防虫ネットを施すことで、無農薬栽培を実現しています。そのため、収穫したその場で試食することもできます。出荷時には根を切らずにそのまま袋詰めするので、鮮度が長持ちするのも特徴です。



※EIMY: Energy In My Yard

「ある需要体があったとき、その地域にある自然エネルギーを、技術的・経済的に許す限り、地域のために最大限活用するエネルギーシステム・社会システム」を表す概念であり、「エネルギーの地産地消」ともいえる。詳しくは『地産地消のエネルギーEIMY: Energy In My Yard』(新妻弘明 2011, NTT 出版)。

● 栽培作物：グリーンリーフレタス

現在エコ菜ハウスでは、グリーンリーフレタスを生産しています。柔らかな食感で、噛むほどにうまみを感じられるおいしいレタスです。

● グリーンリーフレタス販売取扱店

- 道の駅羽鳥湖高原（天栄村羽鳥湖高原）
- 道の駅季の里てんえい（天栄村大里、国道294号沿い）
- 小山総合食品（天栄村湯本集落内）
- 湯本地区内の旅館・食堂等で料理に使用



● 栽培担当者



星あき子



小山毅



▲ 沢水の取り入れ口

● 「きもち金持ちの村づくり」に向けて～エコ菜ハウスの挑戦

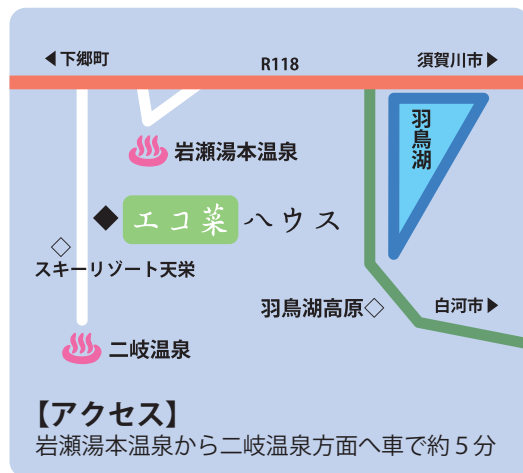
◆農と福祉の連携

エコ菜ハウスでは通年栽培が可能のため、地域に暮らすお年寄りや、障がいのある人たちの就業の場所として活用することを検討しています。



◆生産能力の増強

井戸の熱エネルギーにはまだ余力があり、現在のハウスと同規模ものを、あと2棟運営することが可能です。



【アクセス】
岩瀬湯本温泉から二岐温泉方面へ車で約5分

特定非営利活動法人湯田組とは

さまざまな地域資源を活用した地域づくりを目指す組織として、天栄村湯本地区の住民によって平成25年に設立されたNPO法人です。再生古民家「智恵子邸」や「エコ菜ハウス」を拠点として、農山村ならではの豊かな暮らしをめざす「きもち金持ちの村づくり」に取り組んでいます。



特定非営利活動法人湯田組

天栄村大字湯本字居平44
TEL 0248-94-4130 FAX 0248-94-4131
kimochi.kanemochi@gmail.com
<http://www.yudagumi.com>